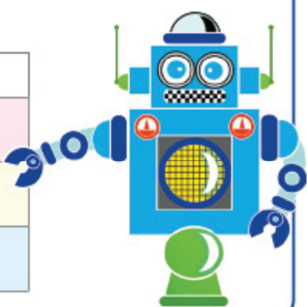


3基の古墳ともに四国内でも最大級の横穴式石室を備えています。古墳がつくられた順に比べてみるといろいろなことが分かってきます。

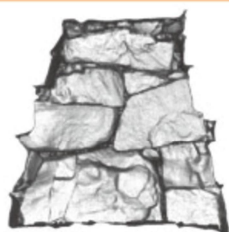
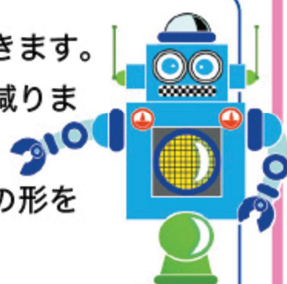
1つめは、石室の大きさがだんだん変わっていきます。前ページや下の表を基に石室の大きさを比べてみましょう。石室はしだいに小さくなっています。また、部屋が二つある形式から一つだけの形式に変わっていきます。

古墳名	石室の構造	石室の最大高	石室の全長
わんかしづかこふん 椀貸塚古墳	ふくしつこうぞう 複室構造	3.90m	14.83m
ひらづかこふん 平塚古墳	たんしつこうぞう 単室構造	2.64m	13.22m
かくづかこふん 角塚古墳	単室構造	2.37m	12.54m



2つめは、石室に使われている石の大きさがだんだん変わっていきます。前ページの石室の横の壁の様子を比べてみると、石積みの段数は減りませんが使われている石一つ一つの大きさは大きくなっています。

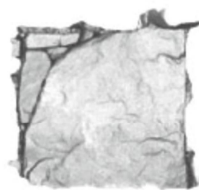
3つめは、石室の形がだんだん変わっていきます。石室の奥の壁の形を比べてみると、台形からきれいな長方形へと変化しています。



わんかしづかこふんおくへき
椀貸塚古墳奥壁



ひらづかこふんおくへき
平塚古墳奥壁



かくづかこふんおくへき
角塚古墳奥壁



このように古墳の変化がはっきりと分かるのが、大野原古墳群の大きな特徴です。また、このような石室の構造の変化から、大野原古墳群が、九州地方の古墳の影響からしだいに近畿地方の古墳の影響を受けているとの説もあります。

スマートフォンやタブレットなどで、大野原古墳群を紹介するサイト「おおのほら探訪. ネット」を見ることが出来るよ。

